

平成23年度事業報告書

社会福祉法人 八身福祉会

1. 法人事業活動状況

昨年3月の東北大震災による自動車産業への打撃の影響を受け、年度当初は受注量の激減への対応に追われたが、幸いにして、他作業班で取引する企業の厚意で多めに受注を頂き、休所するほどの事態には至らなかった。シートベルト作業班においては、夏季は輪番稼働、秋季は生産挽回のための土曜日稼働と、担当職員・利用者の皆さんには不規則な作業体制となり、施設全体としても給食の対応や余暇活動、研修の中止といった影響があった。

リーマン・ショックとヨコタの倒産による減収で、21、22年度の決算で事業活動収支が2年連続で赤字となり、今年度は利用者工賃の精勤手当分と賞与分をカットする旨をお伝えしたが、12月には1回分だけ賞与を配分することができた。その他、滋賀HT、蓮葉からの受注量はほぼ安定している。

印刷事業については、業界全体の厳しい状況の中で計画的な営業に努め、月間売上の対前年同月比はほとんどを上回った。印刷物の受注だけでなく、付随する業務(荷札の針金付け、ラミネート加工など)を作業として受注するといった工夫もあった。

就労移行支援事業については、3名(B型からも3名で計6名)の就職を支援することができた。これまで4年で計9名の就職を支援する中で、施設内での取り組みのポイントや、実習から就職への移行において一定のプロセスが確立しつつある。最初に就職した利用者は3年が経過するが、未だに電話対応など心の拠り所としての支援を継続しつつ、それぞれの生活課題にも配慮して全員が定着することができている。この移行実績とともに、学校や支援機関からの期待も高まっていることを感じており、八日市養護学校に加えて信楽学園や野洲養護学校、長浜高等養護学校などから新規の入所希望を頂くようになった。

利用者支援については、発達障害の方が徐々に増え始め、これまでにない支援方法や障害理解について、研修や支援機関からのアドバイスで学習を重ねた。また、ある程度の生活能力があるが故に年金を受給できない方の就労・生活支援や、全介助の利用者の単独生活を支援することなど、他機関との連携が必要となるが多かった。新規利用者は9名増え、10名が退所となった。

苦情相談については、内外の相談窓口から特段に問題視すべき案件はなかった。今期から利用者の会と管理職職員との懇談会を定期的で開催し、利用者側からの意見を聞かせて頂いたり、施設側からのお願いを説明するなどして、相互の理解と協力関係を築くことに努めた。また、4月の総会を以って家族会が設立され、役員のご家族を中心として悩み事を話し合う場や、グループホームの見学などの活動が行われた。

職員の異動においては、パート1名、看護師1名の退職があり、看護師1名の採用があった。また、契約していた嘱託医の鈴木先生が亡くなられたが、新規で中村先生(中村医院)と契約することができた。職員研修では、計画していた研修日が輪番稼働や土曜日の作業で中止となり、自閉症の障害特性についての1回のみとなった。

家族会からグループホームを整備する要望があり、職員プロジェクト・チームにて設立へ向けた検討を進めることとなった。同時に、15周年記念事業と自主事業の推進プロジェクト・チームも立ち上がった。

2. 理事会（評議員会）開催状況

理 事 会		評 議 員 会	
開催日	議 題	開催日	議 題
4月22日	作業工賃支給規定の改定	5月24日	平成22年度決算・事業報告
5月24日	平成22年度決算・事業報告	9月15日	駐車場の舗装、県監査指摘
9月15日	駐車場の舗装、県監査指摘	12月21日	第二次補正予算
9月19日	駐車場舗装の入札について	3月21日	平成24年度予算、事業計画
12月27日	平成23年度第二次補正予算		
3月21日	平成24年度予算、事業計画		

3. 監事監査の実施状況

- ① 5月 19日 平成22年度 決算内部監査
- ② 7月 25日 平成22年度 指定障害福祉サービス事業者実地監査立会

4. その他

- ①新規取引先企業との契約 → 株式会社 蓮葉（象印製品の加工）

今年度は新たに株式会社 蓮葉と取引を始めた。象印の電子ジャーに使用するパーツの組み立てを中心として、干支饅頭の箱詰め(12月だけで20万個)などを受注。

- ②就労移行実績

株式会社 日研環境サービス…5名
株式会社 関西オオクラ…1名

障害者求人に応募し、トライアル雇用を経て就職に至る。

平成23年度事業報告書

社会福祉施設 八身共同印刷

1. 総括

生活介護事業においては、高齢に伴って軽度の認知症状が見受けられた方や、自閉症の方のこだわり行動への支援について、ご家族との連携をもちながら様々な支援内容を試み、施設全体でも共有して取り組むことができた。

就労移行支援事業については、厳しい雇用情勢の中で3名の就職を支援することができた。妻子があつて家庭環境に問題のある方や、若年者の就労意欲の継続など、作業はできても“働き続けること”への支援について、課題を通じて施設内で多くの議論をもち、支援機関との連携の中で学ぶことが多かった。また運営面においては、多くの就労移行実績に反して報酬が減少した。

2. 年間入所(利用者)(児)数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
種別													
生活介護	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
就労移行	5	5	4	3	3	3	4	4	3	3	2	2	41
合計	11	11	10	9	9	9	10	10	9	9	8	8	113
入所者数							1						1
退所者数			1					1		1			3

3. 職種別職員数 (平成23年 3月31日現在)

職種	施設 長	サ ビ 管	生活 支 援 員	職業 指 導 員	就労 支 援 員	医 師	看 護 師	栄 養 士	調 理 員	事 務 員	合 計
常勤職員	0.2	1	3	1	1			0.2		1	7.2
パート等 非常勤職員			1			0.1	0.1		0.2		1.4
嘱託											0.2
合計	0.2	1	4	1	1	0.1	0.1	0.2	0.2	1	8.8

4. 年間行事实施内容

別紙のとおり

5. 職員研修、職員会議、災害訓練、健康管理、衛生管理等実施内容

別紙のとおり

6. その他(建物等修理・修繕の実施、設備・備品等の整備内容等)

製本・帳合機の売却、中古印刷機の購入

平成23年度事業報告書

社会福祉施設 八身ワークショップ

1. 総括

生活介護事業においては、ご家族の入院による全介助の利用者の単独生活について、ご本人が願う生活と支援する社会資源の少なさのギャップを痛感する機会となった。今後は他の利用者についても、近い将来や万が一の事態を想定した配慮や事業展開の検討が必要となる。

就労継続B型事業においては、震災直後にシートベルト作業の受注が激減したことや、夏季の輪番停電などの対応に追われた一年であった。特に輪番停電による土日稼働(木・金は休日)は利用者への負担も多く、給食提供や職員の体制などに課題があった。

2. 年間入所(利用者)数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
種別													
生活介護	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	132
継続B型	22	24	25	25	26	28	28	28	27	26	25	25	309
合計	33	35	36	36	37	39	39	39	38	37	36	36	441
入所者数					2	2							4
退所者数			1					1	1	1		1	5

3. 職種別職員数 (平成23年 3月31日現在)

職種	施設長	サビ管	生活支援員	職業指導員	就労支援員	医師	看護師	栄養士	調理員	事務員	作業指導員	合計
常勤職員	0.4	1	3.5	2				0.4		0.4		7.7
パート等非常勤職員						0.1	0.1		0.3	0.4		0.9
嘱託												
合計	0.4	1	3.5	2		0.1	0.1	0.4	0.3	0.8		8.6

4. 年間行事实施内容

別紙のとおり

5. 職員研修、職員会議、災害訓練、健康管理、衛生管理等実施内容

別紙のとおり

6. その他(建物等修理・修繕の実施、設備・備品等の整備内容等)

平成23年度事業報告書

社会福祉施設 八身ワークキャンパス

1. 総括

下請け事業においては、新たに炊飯器の部品関連の企業と南京錠を取り扱う企業の2社と取引を開始した。新規利用者の受け入れが多い中で、これまでになかった発達障害や困難な生活課題を抱えた方がおられ、新たに障害特性の学習を重ねて支援方法を工夫し、他機関との連携がより重要となった。

2. 年間入所(利用者)数

月 種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
継続B型	32	31	33	32	32	31	32	32	33	32	33	32	385
合計	32	31	33	32	32	31	32	32	33	32	33	32	385
入所者数			2				1	1					4
退所者数									1			1	2

3. 職種別職員数 (平成23年 3月31日現在)

職種 形態	施設 長	サ ビ 管	生活 支 援 員	職業 指 導 員	目標工 賃達成 指導員	栄 養 士	調 理 員	事 務 員	合 計
常勤職員	0.4	1	2	1	1	0.4		0.5	6.3
パート等 非常勤職員				0.9			0.3		1.2
嘱託	0.2								0.2
合計	0.6	1	2	1.9	1	0.4	0.3	0.5	7.7

4. 年間行事実施内容

別紙のとおり

5. 職員研修、職員会議、災害訓練、健康管理、衛生管理等実施内容

別紙のとおり

6. その他(建物等修理・修繕の実施、設備・備品等の整備内容等)

別 紙(事業報告書関係)

年 間 行 事 等 実 施 報 告 書

項目 月	行 事		職員研修・職員会議等		災 害 訓 練		健康管理・衛生管理		理事会・評議員会		
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	
4月			23	余暇活動(お出掛け)					22	理事会	
5月	21	日帰り旅行							24	理事会・評議員会	
6月					25	職員研修(自閉症)	15	防災訓練			
7月			2	余暇活動(スポーツ)							
8月						読書課題					
9月								14	健康診断(全員)	15 19	理事会・評議員会 理事会
10月			1 29	余暇活動(お出掛け) 余暇活動(映画鑑賞)							
11月			26	余暇活動(焼きそば)			24	防災訓練			
12月	3	日帰り旅行							21 27	評議員会 理事会	
1月	14	新年会	28	余暇活動(鍋)							
2月					25	総括会議					
3月			24	余暇活動(お出掛け)	17	方針会議			21	理事・評議員会	

日 課 ・ 週 間 計 画

時間 曜日	時																								
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
月																									
火																									
水										作業		作業		昼食 休憩		作業		作業							
木																									
金																									
土																									
日																									
備 考	午前中の 9:55 ~ 10:10、午後からの 14:50 ~ 15:05 の各 15 分間は休憩時間 土曜日については、月 1 回程度の余暇活動をまたは施設行事を実施。 施設行事の内訳として、八身ふれあいまつり・親睦研修旅行・新年会を実施。																								

※ 施設における標準的な日課を記入する(給食、入浴、リハビリテーション、作業訓練、クラブ活動等)。